

## 社団法人日本補綴歯科学会 平成 19 年度事業報告書

### I. 目的（定款第 4 条）

社団法人日本補綴歯科学会は、高い公益性をもち、社会のニーズに応えるため、歯科補綴学に関する学理及びその応用についての研究発表、知識の交換、会員相互及び内外の関連学会との連携協力等を行うことにより、歯科補綴学の進歩普及を図ると共にわが国の学術の発展に寄与し、もって国民の健康福祉の向上に貢献することを目的として、以下の事業を実施した。

### II. 学術大会、講演会等の開催（定款第 5 条 1 項）

#### 1. 第 116 回学術大会

第 116 回学術大会を、Asian Academy of Prosthodontics (AAP) との共催で、「国際補綴歯科学会 神戸 2007」と冠して開催した。

- 1) 日時：平成 19 年 5 月 18 日（金）、19 日（土）、20 日（日）
- 2) 場所：場所：神戸ポートピアホテル（神戸市中央区港島中町 6 丁目 10-1）
- 3) 大会長：井上 宏（大阪歯科大学 欠損歯列補綴咬合学講座）
- 4) 参加者：総計 2,332 名
  1. 会員 2,148 名
  2. 準会員 52 名
  3. 学生 26 名
  4. AAP 参加者 106 名
- 5) 総演題数：185 演題
  1. 課題口演 44 演題
  2. 一般ポスター 108 演題
  3. 国際セッション
    - 1) ポスター（AAP） 23 演題
    - 2) 一般口演（AAP） 4 演題
  4. 専門医ケースプレゼンテーション 6 演題
- 6) 会場数
  1. 口演会場 5 会場
  2. ポスター会場 5 会場
  3. 専門医ケースプレゼンテーション 1 会場
  4. 企業展示 1 会場
- 7) 企業展示：60 社、89 ブース
  1. 法人会員 35 社

2. 非法人会員 25 社

8) 学術企画

- ① 特別講演：「長寿社会と健康科学の課題」
  - 1. 座長：井上 宏（大歯大・大会長）
  - 2. 講師：井村 裕夫（財団法人先端医療振興財団理事長）
- ② 理事長講演：「健康科学を基盤とした歯科補綴学の構築と推進—これからの2年間へ向けて—」
  - 1. 座長：佐々木啓一（東北大・副理事長）
  - 2. 講師：平井敏博（北医大・理事長）
- ③ 海外招待講演Ⅰ：“Restoration of Endodontically Treated Teeth”
  - 1. 座長：古谷野 潔（九大）
  - 2. 講師：Stephen F. Rosenstiel（Ohio 州立大学）
- ④ 海外招待講演Ⅱ：“Efficacy of Conventional and Implant-supported Mandibular Resection Prostheses: Study Overview, Treatment Outcomes and Patient Satisfaction”
  - 1. 座長：佐藤 博信（福歯大）
  - 2. 講師：Neal Garrett（UCLA）
- ⑤ シンポジウムⅠ：「欠損歯列における「短縮歯列」処置に関するマルチセンター・リサーチ宿題報告」
  - 1. 座長：五十嵐順正（東医歯大）
  - 2. 講師
    - 1) 山下秀一郎（松歯大）「臼歯部咬合支持の喪失に伴う咬みしめ時の下顎頭変位」
    - 2) 池邊一典（阪大）「SDA 症例の咀嚼能率と義歯」
    - 3) 馬場一美（東医歯大）「SDA 患者における臼歯部咬合支持の喪失と口腔関連 QOL の関係」
- ⑥ シンポジウムⅡ：「インプラントの咬合：分かっていること、いないこと」（日本口腔インプラント学会との共催企画）
  - 1. 座長：武田孝之（東京支部）、前田芳信（阪大）
  - 2. 講師
    - 1) 松下恭之（九大）「インプラント咬合にエビデンスはあるか？」
    - 2) 永田省蔵（九州支部）「臨床上起こっている問題点」
    - 3) 中村公雄（関西支部）「インプラント治療における咬合の臨床的対応」
    - 4) 細川隆司（九歯大）「インプラント臨床における咬合の重要

性 —リスクファクターとしての臨床エビデンス—

- ⑦ 市民公開シンポジウム 「患者の皆さんと共に創る食べる喜び」 (P13 参照)
1. 座長：赤川安正（広大）
  2. 講師
    - 1) 佐藤（佐久間）りか（お茶の水女子大ジェンダー研究センター研究協力員）「〈患者の語り〉のデータベース DIPEx に学ぶ」
    - 2) 和田 努（医療ジャーナリスト）「患者と医療者が支えあう歯科医療」
    - 3) 和田 勝（国際医療福祉大学大学院教授、NPO 歯科医療情報推進機構副理事長）「患者の求める歯科医療機関」
    - 4) 角町正勝（長崎市）「あきらめないで口から食べる」
- ⑧ 教育セミナーⅠ：「咬合を取り巻く心身医学的な疾患・障害の理解」
1. 座長：築山能大（九大）
  2. 講師
    - 1) 鱒見進一（九歯大）「補綴装置や咬合の不定愁訴に対する対応」
    - 2) 玉置勝司（神歯大）「かみ合わせ外来における咬合治療の経験から」
    - 3) 久保千春（九大医）「咬合症状を有する患者の精神医学的診断と治療」
- ⑨ 教育セミナーⅡ：「補綴治療に関するガイドライン策定に向けて」
1. 座長：佐々木啓一（東北大）
  2. 講師
    - 1) 佐々木啓一（東北大）「補綴歯科における診療ガイドラインの必要性」
    - 2) 志賀 博（日歯大）「補綴治療に関するガイドライン策定に向けて」
- ⑩ 研究セミナー：「統計解析を踏まえた歯科補綴学研究計画」
1. 座長：田上直美（長大）
  2. 講師
    - 1) 田上直美（長大）「研究計画についてこれだけは知っておこう」
  3. 横山徹爾（国立保健医療科学院）「例題で学ぶ研究計画と統計解析」

- ⑪ 臨床スキルアップセミナー：「接着ブリッジを成功させるために」
1. 座長：熱田 充（長大）
  2. 講師
    - 1) 近藤康弘（中国・四国支部）「15年生存率から学べたデザインの重要性について」
    - 2) 安田 登（東京支部）「機能回復とMIの両立を目指して」
- ⑫ 歯科技工セッション：「オールセラミック修復の最新情報」
1. 座長：末瀬一彦（大歯大）
  2. 講師
    - 1) 末瀬一彦（大歯大）「セラミッククラウンの変遷」
    - 2) 山田和伸（東海支部）「CAD/CAM オールセラミックスの新潮流・ジルコニア」
    - 3) 増田長次郎（カロスデンタルジャパン）「包括的審美補綴におけるオールセラミックスの位置付け」
- ⑬ 歯科衛生士セッション
1. 講演：「歯科衛生士業務の展開—補綴歯科診療の補助について—」
    - 1) 座長：森戸光彦（鶴見大）
    - 2) 講師：石井拓男（東歯大）
  2. シンポジウム：「補綴臨床における専門的口腔ケア」
    - 1) 座長：小野高裕（阪大）
    - 2) 講師
      - ① 鈴木朋湖（大阪 SJCD）「クラウンブリッジ症例の口腔ケア」
      - ② 小谷康子（医療法人藤原歯科医院）「有床義歯症例の口腔ケア」
      - ③ 上原弘美（神戸市立医療センター中央市民病院）「インプラント症例の口腔ケア」
- ⑭ ランチョンセミナー
1. 「審美歯科を成功させるためには・・・ —オールセラミックレステレーションの臨床—」（松風株式会社）  
講師：六人部慶彦（阪大）
  2. 「磁気歯科治療の新たな展開」（愛知製鋼株式会社）  
講師
    - ① 水谷紘（東医歯大）
    - ② 前田芳信（阪大）

③ 市川哲雄（徳大）

3. 「高齢無歯顎患者への MDI ミニインプラントの臨床応用」 株式会社アイ・エス・コーポレーション  
講師：大森桂二（福歯大）
4. 「歯科用 CAD/CAM における最新の 5 軸加工機と歯科医療の融合」(株式会社ジーシー)  
講師：佐藤文哉（株式会社ジーシー）
5. 「CAD/CAM の臨床応用について」(和田精密歯研株式会社)  
講師：樋口鎮央（和田精密歯研株式会社）
6. 「患者対応 対話型 コミュニケーションソフトウェアメドバイザーデンタルの活用方法と将来性」(株式会社モリタ)  
講師：谷口敬治（株式会社モリタ）

⑮ 専門医研修会：「補綴装置に付与すべき咬合接触 —全部床義歯について—」

1. 座長：市川哲雄（徳大）
2. 講師
  - 1) 小出 馨（日歯大新潟）「無歯顎補綴に有利な咬合接触」
  - 2) 村岡秀明（東関東支）「顎提吸引の著しい症例（LevelⅢ）への対応」

2. 支部学術大会

1) 東北・北海道支部

1. 日時：平成 19 年 11 月 10 日（土）、11 日（日）
2. 場所：ヒルトン小樽（北海道小樽市築港 11 番 3 号）
3. 大会長：越智守生（北医大）
4. 特別講演：「歯の保存とインプラントの活用～R-9 の法則と TAIP の法則」
  - 1) 講師：上浦庸司（北海道）
5. 共催：小樽市歯科医師会学術大会
6. 生涯学習公開セミナー開催（P11 参照）

2) 関越支部

1. 日時：平成 19 年 10 月 7 日（日）
2. 場所：とちぎ歯の健康センター研修室（栃木県宇都宮市一の沢 2-2-5）
3. 大会長：渡邊文彦（日歯大新潟）
4. 生涯学習公開セミナー開催（P11 参照）

3) 東関東支部

1. 日時：平成 20 年 3 月 16 日（日）
2. 場所：茨城県総合福祉会館
3. 大会長：川良美佐雄（日大松戸）
4. 共催：第 16 回茨城県歯科医学会
5. 生涯学習公開セミナー開催（P12 参照）
6. 市民フォーラム開催（P14、15、17 参照）

4) 東京支部

1. 日時：平成 19 年 12 月 1 日（土）
2. 場所：東京医科歯科大学 歯学部特別講堂（歯学部事務棟 4 階）
3. 大会長：五十嵐 順正（東医歯大）
4. 特別講演：「睡眠時ブラキシズムと補綴臨床-欠損歯列における力のコントロール」
  - 1) 講師：馬場一美（昭和大）
  - 2) 座長：藍 稔（東医歯大・名誉教授）
5. 生涯学習公開セミナー開催（P12 参照）

5) 西関東支部

1. 日時：平成 20 年 1 月 13 日（日）
2. 場所：パシフィコ横浜（横浜市西区みなとみらい 1-1-1）
3. 大会長：細井紀雄（鶴見大）
4. 後援：神奈川県歯科医師会
5. 併催：神奈川県歯科医師会学術大会
6. 生涯学習公開セミナー開催（P12 参照）
7. 市民フォーラム開催（P16 参照）

6) 東海支部

1. 日時：平成 19 年 12 月 8 日（土）、9 日（日）
2. 場所：朝日大学歯学部 1 号館 3 階大講義室
3. 大会長：倉知正和（朝日大）
4. 特別講演：「高齢社会における補綴歯科治療」
  - 1) 講師：藤原 周（朝日大）
  - 2) 座長：倉知正和（朝日大）
5. 後援：岐阜県歯科医師会、三重県歯科医師会
6. 生涯学習公開セミナー開催（P13 参照）
7. 市民フォーラム開催（P16 参照）

7) 関西支部

1. 日時：平成 20 年 1 月 27 日（日）

2. 場所：大阪大学中ノ島センター（大阪市北区中之島 4-3-53）
  3. 大会長：前田芳信（阪大）
  4. 生涯学習公開セミナー開催（P13 参照）
- 8) 中国・四国支部
1. 日時：平成 19 年 9 月 1 日（土）、2 日（日）
  2. 場所：ホテルクレメント徳島、徳島県歯科医師会館
  3. 大会長：井上三四郎（徳島県）
  4. 名誉大会長：和田明人
  5. 特別講演：「歯科補綴を次世代に引き継ぐ」
    - 1) 座長：皆木省吾（岡山大）
    - 2) 講師
      - ① 濱田泰三（広大）
      - ② 坂東永一（徳大）
  6. 生涯学習公開セミナー開催（P13 参照）
  7. 市民フォーラム開催（P14 参照）
  8. 「補綴歯科サマースクール 2007 in 鳴門」の開催
    - 1) 日時：平成 19 年 8 月 31 日、9 月 1 日
    - 2) 場所：ホテルルネッサンスリゾート鳴門
    - 3) 教育講演 1：「歯科自然科学と新現場主義」  
講師：皆木省吾（岡山大）
    - 4) 教育講演 2：「歯科再生の道をさぐる」  
講師：江藤一洋（日本歯科医学会会長）
    - 5) 教育講演 3：「咬合の過去、現在、未来」  
講師：坂東永一（徳島大）
- 9) 九州支部
1. 日時：平成 19 年 11 月 11 日（日）
  2. 場所：九州歯科大学講堂
  3. 大会長：鱒見進一教授（九歯大）
  4. 特別講演：「歯科診療における口腔乾燥への臨床的対応」
    - 1) 講師：柿木保明（九歯大）
    - 2) 座長：鱒見進一（九歯大）
  5. 市民フォーラム開催（P15 参照）

### III. 学会誌その他の刊行物の発行（定款第 5 条 2 項）

1. 日本補綴歯科学会雑誌：4 回発行  
第 51 巻 2 号～4 号、第 52 巻 1 号

2. Prosthodontic Research and Practice (PRP、英文誌) : 4回発行  
Vol. 6, No. 2~4、Vol. 7, No. 1
3. 大会抄録集 : 1回発行  
日本補綴歯科学会雑誌 第51巻 第116回特別号
4. 会員向けニュースレター (Letter for Members) を3回 (No. 25、26、27) 発行

#### IV. 研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第5条3項)

1. 学会優秀論文賞
  - ① 学会論文賞
    - 1) 福島俊士 (鶴見大)
    - 2) 長岡英一 (鹿大)
  - ② 特定推進研究優秀論文賞
    - 1) 高橋敏幸 (北大)
    - 2) 原 聰 (昭和大)
  - ③ 中堅優秀論文賞
    - 1) 土田富士夫 (鶴見大)
    - 2) 松山美和 (九大)
  - ④ 奨励論文賞
    - 1) 石原 広 (昭和大)
    - 2) 長谷川 (安川) 陽子 (阪大)
    - 3) 笛木賢治 (東医歯大)
    - 4) 小倉京子 (日大松戸)
    - 5) 柴田武士 (神歯大)
2. 学会特別功労賞
  - 1) 天野秀雄 名誉会員
  - 2) 甘利光治 名誉会員
  - 3) 川添堯彬 元会長
  - 4) 川和忠治 名誉会員
  - 5) 中尾勝彦 元中国・四国支部長 (追贈)
  - 6) 宮地建夫 元監事
3. 第116回日本補綴歯科学会学術大会優秀ポスター賞 (デンツプライ賞)
  - 1) 小山重人 (東北大)
  - 2) 本釜聖子 (徳大)
  - 3) 内田昌範 (阪大)
  - 4) 田中みか子 (新潟大)
  - 5) 大島正充 (岡山大)



6) Yu-Sung Choi (Dankook University)

4. 第 116 回日本補綴歯科学会学術大会課題口演コンペティション優秀賞
  - 1) 古屋純一 (岩医大)
  - 2) 城下尚子 (阪大)
  - 3) 松野彰仁 (大歯大)
  - 4) 小野 剛 (岡山大)
  - 5) 會田英紀 (北大)
  - 6) 牧平清超 (広大)
  - 7) 折居雄介 (東北大)
  - 8) 田仲持郎 (岡山大)

V. 認定医・専門医の育成 (定款第 5 条 6 項)

1. 専門医制度

平成 17 年 8 月 7 日から専門医制度に移行し、専門医 1,152 名 (うち指導医 782 名)、認定医 91 名 (うち指導医 4 名) である。指定研修施設 90 か所 (甲 77 施設、乙 13 施設) が認定されている (平成 20 年 3 月 31 日現在)。

なお、平成 17 年 8 月 8 日に施行された日本補綴歯科学会専門医制度について、日本歯科医学会認定医・専門医制協議会での審議を経て、日本歯科医学会で「補綴歯科専門医」を可とする決定を得た後、平成 18 年 1 月 24 日厚生労働省に正式に申請済である。

2. 認定事業

第 1 回認定部会 (平成 19 年 4 月 23 日) において、新規専門医 22 名、専門医の更新 107 名を認定し、更に、認定医から専門医への切り替え 1 名を認定した。新規指導医申請 14 名について適格であると認定した。認定研修機関の新規申請について、(甲) 1 機関について適格であると認定した。認定研修機関の更新申請について、(甲) 2 機関を認定した。

第 2 回認定部会 (平成 19 年 9 月 10 日) において、新規専門医 12 名、専門医の更新 308 名を認定し、さらに、認定医から専門医への切り替え 3 名を認定した。新規指導医申請 10 名について適格であると認定した。

3. 専門医申請ケースプレゼンテーション : 40 題

- 1) 第 116 回学術大会 6 題
- 2) 東北・北海道支部学術大会 9 題
- 3) 関越支部学術大会 1 題
- 4) 東関東支部学術大会 3 題
- 5) 東京支部学術大会 6 題
- 6) 西関東支部学術大会 3 題

- 7) 東海支部学術大会 2 題
- 8) 関西支部学術大会 2 題
- 9) 中国・四国支部学術大会 6 題
- 10) 九州支部学術大会 2 題

#### 4. 専門医症例論文

専門医症例報告論文の 31 編が査読対象となった。

#### 5. 平成 19 年度専門医研修会の開催

第 116 回学術大会との併催で、平成 19 年 5 月 20 日に開催した。専門医申請ケースプレゼンテーション (6 名) および専門医研修専門医研修会：「補綴装置に付与すべき咬合接触 —全部床義歯について—」が開催された。

- 1) 座長：市川哲雄 (徳大)
- 2) 講師
  1. 小出 馨 (日歯大新潟) 「無歯顎補綴に有利な咬合接触」
  2. 村岡秀明 (東関東支部) 「顎提吸収の著しい症例 (LevelⅢ) への対応」

### VI. 関連学術団体との連絡及び協力 (定款第 5 条 4 項)

#### ① 日本歯科医学会

- 1) 理事：平井敏博
- 2) 評議員：佐々木啓一、古谷野潔、矢谷博文
- 3) 予備評議員：志賀 博、佐藤裕二、松村英雄
- 4) 歯科学術用語委員会委員：谷口 尚
- 5) 学術研究委員会委員：佐々木啓一

#### ② 日本口腔インプラント学会との共催シンポジウムの開催

(第 116 回学術大会 大会長 井上 宏 (大歯大))

- 1) 「インプラントの咬合：分かっていること、いないこと」
- 2) 座長：武田孝之 (東京支部)、前田芳信 (阪大)
- 3) 講師
  1. 松下恭之 (九大) 「インプラント咬合にエビデンスはあるか？」
  2. 永田省蔵 (九州支部) 「臨床上起こっている問題点」
  3. 中村公雄 (関西支部) 「インプラント治療における咬合の臨床的対応」
  4. 細川隆司 (九歯大) 「インプラント臨床における咬合の重要性 —リスクファクターとしての臨床エビデンス—」

#### ③ 日本歯科技工学会との共催 (第 116 回学術大会 大会長 井上 宏 (大歯大))

- 1) 歯科技工セッション：「オールセラミック修復の最新情報」
- 2) 座長：末瀬一彦 (大歯大)

### 3) 講師

1. 末瀬一彦（大歯大）「セラミッククラウンの変遷」
2. 山田和伸（東海支部）「CAD/CAM オールセラミックスの新潮流・ジルコニア」
3. 増田長次郎（カロスデンタルジャパン）「包括的審美補綴におけるオールセラミックスの位置付け」

## VII. 国際的な研究協力の推進（定款第5条5項）

海外の補綴歯科学会および関連学会との交流の促進、活動状況の会員への広報などを行った。

1. International College of Prosthodontists (ICP) について  
第12回学術大会が2007年9月5～8日に福岡にて開催された。JPS会員は、ICP会員資格で参加した。
2. アジア補綴学会 (Asian Academy of Prosthodontics ; AAP)  
第5回学術大会が、第116回日本補綴歯科学会学術大会（大会長：井上 宏大 阪歯科大学教授）と併催で2007年5月18日（金）-20日（日）の日程で神戸（ポートピアホール：神戸市中央区港島中町）にて開催された。
3. Korean Academy of Prosthodontics (KAP) ならびに Chinese Prosthodontics Society (CPS) との交流について  
第1回の3か国 Joint meeting を2008年の第117回日本補綴歯科学会学術大会（大会長 田中貴信（愛院大））にて開催予定。
4. Greater New York Academy of Prosthodontics (GNYAP) との joint meeting について  
2007年10月20日（土）、21日（日）に、TFTホール（東京都江東区有明3丁目1番）にて開催された（大会長 赤川安正（広大・前理事長））
5. Indian Prosthodontic Society (IPS) との交流について  
2007年3月28日に、インド Chennai において、学術交流協定が締結された。
6. International Association for Dental Research との連携  
第85回 IADR から、日本補綴歯科学会と IADR Prosthodontic Research Group の協賛による Joint Symposium、および”IADR Prosthodontics Research Group Pre-Prosthetic Regenerative Science Award for Young Investigators” が設定されている。

## VIII. 歯科医療の向上の推進（定款第5条6項）

1. 生涯学習公開セミナーの開催
  - 1) 東北・北海道支部

1. 日時：平成 19 年 11 月 11 日（日）
  2. 場所：ヒルトン小樽（北海道小樽市築港 11 番 3 号）
  3. テーマ：「トップアスリートが歯を大切にしている理由 ―スポーツ歯学の EBM―」
  4. 趣旨：国民の健康・QOL に貢献する補綴歯科臨床の発展
  5. 講師
    - 1) 額賀康之（北海道）
    - 2) 白幡圭史（(財) 釧路市スポーツ振興財団）
    - 3) 越野 寿（北医大）
  6. 座長：越野 寿（北医大）
- 2) 関越支部
1. 日時：平成 19 年 10 月 7 日（日）
  2. 場所：とちぎ歯の健康センター研修室（栃木県宇都宮市一の沢 2-2-5）
  3. テーマ：「ジルコニア・オールセラミックス・システムの臨床応用」
  4. 講師
    - 1) 松崎正樹（関越支部）
    - 2) 瀬戸延泰（神奈川県）
    - 3) 小松繁樹（関越支部）
  5. 座長：新谷明喜（日歯大）
- 3) 東関東支部
1. 日時：平成 20 年 3 月 16 日（日）
  2. 場所：茨城県総合福祉会館
  3. テーマ：「補綴治療を行うにあたって」①歯周病専門医が補綴前に考えること、②補綴歯科専門医が補綴前に考えること
  4. 講師
    - 1) 小方頼昌（日大松戸）
    - 2) 古谷 容（東関東支部）
  5. 座長：大川周治（明海大）
- 4) 東京支部
1. 日時：平成 19 年 12 月 1 日（土）
  2. 場所：東京医科歯科大学 4F 歯学部特別講堂
  3. テーマ：「歯周治療と補綴治療のコラボレーション」
  4. 講師
    - 1) 谷口威夫（東海支部）

- 2) 西堀雅一（東京都）
5. 座長：五十嵐順正（東医歯大）
- 5) 西関東支部
  1. 日時：平成 20 年 1 月 13 日（土）
  2. 場所：パシフィコ横浜 アネックスホール（横浜市西区みなとみらい 1-1-1）
  3. テーマ：「POS 診療に必要な歯科医師とコ・デンタルスタッフのコミュニケーション」
  4. 講師
    - 1) 天川由美子（東京支部）
    - 2) 高橋 健（神奈川県）
    - 3) 土屋和子（東京都）
  5. 座長：阿部 實（鶴見大）
- 6) 東海支部
  1. 日時：平成 19 年 12 月 8 日（土）
  2. 場所：朝日大学歯学部
  3. テーマ：「マグネットデンチャーを成功させるために」
  4. 講師
    - 1) 都尾元宣（朝日大）「マグネットデンチャーの設計」
    - 2) 黒岩昭弘（松歯大）「マグネットデンチャーの補綴臨床における可能性」
    - 3) 星合和基（愛院大）「術後からみたマグネットデンチャー」
  5. 座長：都尾元宣（朝日大）
- 7) 関西支部
  1. 日時：平成 20 年 1 月 27 日（日）
  2. 場所：大阪大学中ノ島センター
  3. テーマ：「欠損歯列の長期経過 ～これ以上欠損を拡大させないために」
  4. 講師
    - 1) 池邊一典（阪大）
    - 2) 松井徳雄（大阪府）
    - 3) 牛島 隆（九州支部）
  5. 座長：前田芳信（阪大）
- 8) 中国・四国支部
  1. 日時：平成 19 年 9 月 2 日（日）
  2. 場所：徳島県歯科医師会館

3. テーマ：「顎関節症 こんな人が来たら？」
4. 講師
  - 1) 中野雅徳（徳大）
  - 2) 羽田 勝（徳大）
  - 3) 和気裕之（横浜市）
5. 座長：窪木拓男（岡山大）

#### IX. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条7項）

##### 1. 市民フォーラムの開催

平成19年度は、市民フォーラムを12回開催した。

総参加者数：約1,200名

##### 1) 平成19年5月20日（日）

1. 場所：神戸ポートピアホテル
2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会
3. テーマ：「患者の皆さんと共に創る食べる喜び」
4. 座長：赤川安正（広大）
5. 講師
  - 1) 佐藤（佐久間）りか（お茶の水女子大ジェンダー研究センター研究協力員）「〈患者の語り〉のデータベース DIPEx に学ぶ」
  - 2) 和田 努（医療ジャーナリスト）「患者と医療者が支えあう歯科医療」
  - 3) 和田 勝（国際医療福祉大学大学院教授、NPO 歯科医療情報推進機構副理事長）「患者の求める歯科医療機関」
  - 4) 角町正勝（長崎市）「あきらめないで口から食べる」
6. 参加者数：150名

##### 2) 平成19年7月11日（水）

1. 場所：千葉市文化センター
2. 主催：千葉市・財団法人 千葉市文化振興財団
3. 後援：社団法人日本補綴歯科学会東関東支部
4. テーマ：「歯と身体の健康」
5. 座長：なし
6. 講師：佐藤 亨（東歯大）
7. 参加者数：120名

##### 3) 平成19年7月25日（水）

1. 場所：千葉市文化センター
2. 主催：千葉市・財団法人 千葉市文化振興財団

3. 後援：社団法人日本補綴歯科学会東関東支部
  4. テーマ：「入れ歯と健康」
  5. 座長：なし
  6. 講師：櫻井 薫（東歯大）
  7. 参加者数：120名
- 4) 平成19年9月1日（土）
1. 場所：ホテル クレメント徳島
  2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会中国・四国支部
  3. 後援：徳島県歯科医師会、徳島市歯科医師会、徳島新聞
  4. テーマ：「歯の健康とストレス」
  5. 座長：市川哲雄（徳大）
  6. 講師：六反一仁（徳島大学ストレス研究センター長、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部生体制御医学講座ストレス制御医学分野）
  7. 参加者数：80名
- 5) 平成19年10月2日（火）
1. 場所：吹田市民会館
  2. 主催：（財）吹田市健康づくり推進事業団
  3. 後援：社団法人日本補綴歯科学会関西支部
  4. テーマ：「何時までも、美味しく食べるために」義歯と上手につき合う方法
  5. 座長：前田芳信（阪大）
  6. 講師：池邊一典（阪大）
  7. 参加者数：70名
- 6) 平成19年10月13日（土）
1. 場所：東京医科歯科大学歯学部第一講堂
  2. 主催：東京医科歯科大学お茶の水祭実行委員会
  3. 後援：社団法人日本補綴歯科学会東京支部
  4. テーマ：「医科と歯科とのコラボレーションー顎顔面補綴治療」
  5. 座長：なし
  6. 講師：谷口 尚（東医歯大）
  7. 参加者数：80名
- 7) 平成19年10月27日（土）
1. 場所：日本大学歯学部
  2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会東京支部
  3. 共催：日本大学歯学部桜歯祭実行委員会

4. テーマ：「素敵な笑顔と楽しい生活への補綴（ほてつ）治療」
  5. 座長：石上友彦（日大）
  6. 講師：小峰 太（日大）
  7. 参加者数：140名
- 8) 平成19年11月11日（日）
1. 場所：九州歯科大学講堂
  2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会九州支部
  3. テーマ：「磁石の義歯で快適ライフ ーご存知ですか。マグネットデンチャーってー」
  4. 座長：有田正博（九歯大）
  5. 講師：鱒見進一（九歯大）
  6. 参加者数：120名
- 9) 平成19年12月8日（土）
1. 場所：朝日大学
  2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会東海支部
  3. 後援：岐阜県歯科医師会、三重県歯科医師会
  4. テーマ：「食べて増進、健康・体力」
  5. 座長：山内六男（朝日大）
  6. 講師
    - 1) 山内六男（朝日大）「歯科補綴専門医のかかわり」
    - 2) 長屋恭一（岐阜総合学園高等学校・全日本代表男子ホッケー監督）「世界を目指す日本男子ホッケー」
    - 3) 佐藤裕二（昭和大）「失われた歯と健康を取り戻す」
  7. 参加者数：120名
- 10) 平成20年1月13日
1. 場所：パシフィコ横浜 2F アネックスホール
  2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会西関東支部
  3. 後援：神奈川県歯科医師会
  4. テーマ：「咀嚼と食育」
  5. 座長：細井紀雄（鶴見大）
  6. 講師
    - 1) 田沼敦子（日本歯科医師会 千葉市開業 料理研究家）「ウエル嚙む」
    - 2) 豊田 實（神歯大）「しっかり嚙むための入れ歯との付き合い方」
  7. 参加者数：100名



11) 平成 20 年 1 月 24 日

1. 場所：千代田区立高齢者センター
2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会東京支部
3. 共催：千代田区立高齢者センター
4. テーマ：「義歯と高齢者の健康」
5. 座長：佐藤吉則（日大）
6. 講師：豊間 均（日大）
7. 参加者数：25 名

12) 平成 20 年 3 月 16 日（日）

1. 場所：茨城県総合福祉会館
2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会東関東支部
3. 後援：茨城県歯科医師会
4. テーマ：「お口の機能から介護予防を考える」
5. 座長：櫻井 薫（東歯大）
6. 講師：平野浩彦（東京都老人医療センター歯科口腔外科）
7. 参加者数：70 名

2. 市民に対する補綴広報パンフレット【補綴歯科ってなに？】の配付
3. 市民向けポスター【補綴歯科および補綴歯科専門医とは】の専門医への配布（平成 20 年 3 月）
4. 一般向けホームページの継続的なリニューアルを行った。アクセス数は 20 万件を突破した。
5. 国際的な PR のため「Dentistry in Japan」に学会活動に関する記事を掲載した。

X. 総会（定款第 30 条 1 項、2 項）

1. 第 1 回定例総会：平成 19 年 5 月 18 日

議事の経過及び結果

第 1 号議案 議事録署名人の選出について

定款第 35 条に基づき、前田議長、平井理事長、志賀理事を議事録署名人としたい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。

第 2 号議案 平成 18 年度事業および決算に関する件

資料 1～8 を基に、平成 18 年度事業および決算について、ならびに平成 19 年 5 月 14 日に開催された監査報告が行われた後、定款第 42 条に基づき審議の結果、全会一致で承認された。

第 3 号議案 名誉会員の推薦について

資料 9～11 を基に、定款第 6 条に基づき、東海支部長推薦の甘利光治先生、東京支部推薦の川和忠治先生、同じく東京支部推薦の早川 巖先生を名

誉会員に推薦する旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。

第4号議案 他支部への転出に伴う代議員の補充について

資料12を基に、役員・代議員選任規程第8条に基づき、東北・北海道支部の伊藤創造先生を代議員に推薦したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。

第5号議案 新規指導医申請者の認定について

資料13を基に、平成19年4月23日開催の平成19年度第1回専門医制度委員会認定部会において適格とされた14名の新規指導医について、専門医制度規則第8条に則り審議したい旨が諮られ、審議の結果、新規指導医14名が全会一致で承認された。

2. 第2回定例総会：平成20年3月2日

議事の経過及び結果

第1号議案 議事録署名人の選出について

定款第35条の規定により、平成19年度第2回定例総会の議事録書名人について、議長である櫻井 薫先生、平井敏博理事長、魚島勝美理事の3名を選出したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で可決された。

第2号議案 平成20年度事業計画（案）について

定款第32条の規定により、資料1を基に、平成19年度第2回理事会で承認された平成20年度事業計画書（案）について審議の結果、全会一致で可決された。

第3号議案 平成20年度収支予算（案）について

定款第32条の規定により、資料2を基に、平成19年度第2回理事会で承認された平成20年度収支予算書（案）について審議の結果、全会一致で可決された。

第4号議案 新規指導医の認定について

専門医制度規則第8条の規定により、資料3を基に、平成19年度第2回理事会で承認された10名の新規指導医について審議の結果、新規指導医10名が全会一致で可決された。

第5号議案 名誉会員の推薦について

資料4を基に、櫻井東関東支部長から名誉会員として推薦された小林喜平先生について、資料5、6を基に、皆木中国・四国支部長から名誉会員として推薦された坂東永一先生、浜田泰三先生について、資料8を基に、鱒見九州支部長から名誉会員として推薦された熱田 充先生について、資料9を基に、阿部西関東支部長から名誉会員として推薦された細井紀雄先生について、資料10を基に、大畑東北・北海道支部長から名誉会員として推薦され

た渡邊 誠先生について、名誉会員推薦規則第 4 条に則り審議したい旨が諮られ、審議の結果、名誉会員に推戴することが全会一致で可決された。なお、資料 7 の中国・四国支部から名誉会員として推薦された故中尾勝彦先生については、死亡により会員資格を喪失されていることから、第 2 回理事会において名誉会員の推薦を見送ることとなった旨が確認された。

#### 第 6 号議案 2 年以上の会費未納に伴う除名手続きについて

資料 11 を基に、定款 11 条に定められている、「会費を継続して 2 年以上滞納したとき、総会の議決を経て、理事長が除名することができる。」に従い、2 年以上滞納している会員を対象として、既に文書による通告を行っているとおりに、平成 19 年度末（平成 20 年 3 月 31 日）までに会費の納入が行われない場合は、平成 20 年 4 月 1 日付けで除名する旨が諮られ、審議の結果、全会一致で可決された。

#### 第 7 号議案 日本補綴歯科学会の雑誌について

資料 17 を基に、PRP 誌の Medline 収載の可能性に関して、Elsevier 社から、非常に困難である旨の回答と、いくつかの示唆が得られた旨の報告がなされた。これらを踏まえて審議の結果、現・補綴誌を英文誌に移行させるために、2008 年 4 月から 2008 年 12 月までは、現・補綴誌を和英混交誌とし、英文論文を掲載すること、2009 年 1 月以降は、現・補綴誌の名称 (Hotetsu Shika Gakkai Zasshi) を変更して、英文論文のみを掲載すること、加えて和文論文を掲載するための新・和文誌について検討すること（現・PRP 誌の名称を変更して、これに当てるとも含む）、現・PRP 誌については、7 巻 2 号を発刊し、それ以降の発刊については継続審議とすることが第 2 回理事会において全会一致で承認されたことが報告された後、第 2 回総会に諮られ、審議の結果、全会一致で可決された。

なお、本議案の可決に伴い、第 2 号議案で可決された平成 20 年度事業計画書における「2. 学会誌の発行」の文言を、「研究成果の公開ならびに国際的評価の確立のために、2008 年 4 月から 12 月までに和英混合誌（日本補綴歯科学会雑誌、Hotetsu Shika Gakkai Zasshi）を 3 回、英文誌（PRP）を 1 回、2009 年 1 月から 3 月までに英文誌（名称未定）を 1 回、和文誌（名称未定）を 1 回発行する。」と修正することが確認された。

#### 第 8 号議案 第 118 回ならびに 119 回学術大会長の選任について

第 118 回学術大会大会長を大阪大学の矢谷博文先生、第 119 回学術大会大会長を日本歯科大学生命歯学部志賀 博先生と決定したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で可決された。

## XI. 理事会（定款第 27 条 1 項）

1. 臨時理事会：平成 19 年 4 月 20 日

議事の経過及び結果

第 1 号議案 理事長の選任について

定款第 15 条および役員・代議員選任規程第 2 条に基づき、平井敏博理事を理事長として選任する旨が諮られ、審議の結果、全会一致で可決された。

第 2 号議案 議事録署名人の選出について

定款第 35 条に基づき、平成 19 年度臨時理事会の議事録署名人について、議長である平井敏博理事長、佐々木啓一理事、古谷野 潔理事の 3 名を選出したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で可決された。

第 3 号議案 副理事長の選任について

定款第 15 条および役員・代議員選任規程第 3 条に基づき、佐々木啓一理事、古谷野潔理事を副理事長として選任する旨が諮られ、審議の結果、全会一致で可決された。

第 4 号議案 委員長、部会長、委員、幹事の委嘱について

平井理事長から、資料 1 を基に、委員長、部会長、委員、幹事の委嘱を行いたい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で可決された。

第 5 号議案 新入会員について

矢谷理事から、資料 2 を基に、定款第 7 条に基づき、新入会員について審議を願いたい旨が諮られ、審議の結果、新入会員 136 名ならびに準会員 4 名の入会が、全会一致で可決された。

2. 第 1 回理事会：平成 19 年 5 月 18 日

議事の経過及び結果

第 1 号議案 議事録署名人の選出について

定款第 35 条に基づき、平井理事長、矢谷理事、皆木理事を議事録署名人としたい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。

第 2 号議案 平成 18 年度事業および決算に関する件

資料 1～8 を基に、平成 18 年度事業および決算について、ならびに平成 19 年 5 月 14 日に開催された監査報告が行われた後、定款第 42 条に基づき審議の結果、全会一致で承認され、第 1 回定例総会に諮ることとなった。

第 3 号議案 名誉会員の推薦について

資料 9～11 を基に、定款第 6 条に基づき、東海支部長推薦の甘利光治先生、東京支部推薦の川和忠治先生、同じく東京支部推薦の早川 巖先生を名誉会員に推薦する旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認され、第 1 回定例総会に諮ることとなった。

第 4 号議案 他支部への転出に伴う代議員の補充について

資料 12 を基に、役員・代議員選任規程第 8 条に基づき、東北・北海道支部の伊藤創造先生を代議員に推薦したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認され、第 1 回定例総会に諮ることとなった。

第 5 号議案 新規指導医申請者の承認について

資料 13 を基に、平成 19 年 4 月 23 日開催の平成 19 年度第 1 回専門医制度委員会認定部会において適格とされた 14 名の新規指導医について、専門医制度規則第 8 条に則り審議したい旨が諮られ、審議の結果、新規指導医 14 名が全会一致で承認され、第 1 回定例総会に諮ることとなった。

第 6 号議案 認定研修施設の承認について

資料 14 を基に、平成 19 年 4 月 23 日開催の平成 19 年度第 1 回専門医制度委員会認定部会において適格とされた新規認定研修施設（甲）1 件について、専門医制度規則第 5 条に則り審議したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。

第 7 号議案 新入会員について

資料 15 を基に、平成 19 年 4 月 20 日から 5 月 14 日までの新入会員について審議の結果、正会員 28 名、準会員 1 名の入会が全会一致で承認された。

3. 臨時理事会：平成 19 年 8 月 3 日

議事の経過及び結果

第 1 号議案 議事録署名人の選出について

定款第 35 条に基づき、平成 19 年度第 2 回臨時理事会の議事録署名人について、議長である平井敏博理事長、森戸光彦理事、市川哲雄理事の 3 名を選出したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で可決された。

第 2 号議案 規程集の改正について

大川理事から、資料 1～11 を基に、平成 19・20 年度の委員会構成の変更に伴う規程の廃止、改正および制定、申し合わせの改正、支部規程の改正、支部助成金申請書の改正、ならびに規則の改正について諮られ、審議の結果、全会一致で可決された。

第 3 号議案 事務局賃貸借契約の改正について

森戸理事から、資料 12 を基に、平成 19 年 1 月 19 日に行われた文部科学省による実地検査後の指摘に基づき、事務局賃貸借契約を、現在の口腔保健協会からの又貸しではなく、直接契約に改めたい旨、平成 19 年 8 月 1 日に遡って承認を得たい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で可決された。

4. 第 2 回理事会：平成 20 年 3 月 2 日

議事の経過及び結果

#### 第 1 号議案 議事録署名人の選出について

定款第 35 条の規定により、平成 19 年度第 2 回理事会の議事録署名人について、議長である平井敏博理事長、石橋寛二理事、五十嵐順正理事の 3 名を選出したい旨が諮られ、全会一致で承認された。

#### 第 2 号議案 平成 20 年度事業計画（案）について

定款第 32 条の規定により、資料 2 を基に、平成 20 年度事業計画書（案）が諮られ、審議の結果、全会一致で承認され、第 2 回定例総会に諮ることとなった。

#### 第 3 号議案 平成 20 年度収支予算（案）について

定款第 32 条の規定により、資料 3 を基に、平成 20 年度収支予算書（案）が諮られ、審議の結果、全会一致で承認され、第 2 回定例総会に諮ることとなった。

#### 第 4 号議案 規程集の改正について

資料 4 を基に、「専門医制度規則」および「専門医制度施行細則」に関し、1) 専門医試験の導入、2) 専門医症例報告の投稿、3) 専門医、指導医および認定研修機関の資格の喪失、4) 申請書類の明確化、5) その他の文言の修正を含む改正について、「市民フォーラム開催に関する申し合わせ」および「講演等に係わる謝礼等に関する規則」に関し、1) 支部長への感謝状、2) その他の文言の修正を含む改正について、「市民フォーラム開催申請書」および「市民フォーラム後援申請書」の改正について、「名誉会員推薦規則」の改正について、「表彰制度規程」に関し、特別功労賞の資格に係わる改正について、「(旧) 庶務 → (新) 総務」および「(旧) 法人運営委員会 → (新) 理事長」への改正に伴う改正日の追加修正について、および、規程検討委員会における現委員名の記載について諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。

#### 第 5 号議案 新規指導医の認定について

資料 5 を基に、平成 19 年 9 月 10 日開催の平成 19 年度第 2 回専門医制度委員会認定部会において適格とされた 10 名の新規指導医について、専門医制度規則第 8 条に則り審議したい旨が諮られ、審議の結果、新規指導医 10 名が全会一致で承認され、第 2 回定例総会に諮ることとなった。

#### 第 6 号議案 名誉会員の推薦について

資料 6 を基に、櫻井東関東支部長から名誉会員として推薦された小林喜平先生について、資料 7～9 を基に、皆木中国・四国支部長から名誉会員として推薦された坂東永一先生、浜田泰三先生、中尾勝彦先生について、資料 10 を基に、鱒見九州支部長から名誉会員として推薦された熱田 充先生について、資料 11 を基に、阿部西関東支部長から名誉会員として推薦された



細井紀雄先生について、資料 12 を基に、大畑東北・北海道支部長から名誉会員として推薦された渡邊 誠先生について、名誉会員推薦規則第 4 条に則り審議したい旨が諮られ、審議の結果、死亡により会員資格を喪失している中尾勝彦先生を除く 6 名を名誉会員とすることが全会一致で承認され、第 2 回定例総会に諮ることとなった。

#### 第 7 号議案 平成 19 年度日本補綴歯科学会特別功労賞の推薦について

学会特別功労賞の推薦について、表彰制度規程により選考委員会から理事長に以下に記載する 6 名の推薦があり、理事会において審議を願いたい旨の発議がなされた。古谷野特別功労賞推薦委員長から、資料 13 を基に、特別功労賞推薦委員会の説明が行われ、審議の結果、全会一致で可決された。なお、学会特別功労賞の授賞式は、第 117 回学術大会時の総会において執り行うことが確認された。

天野秀雄 名誉会員  
甘利光治 名誉会員  
川添堯彬 元会長  
川和忠治 名誉会員  
故中尾勝彦 元中国・四国支部長  
宮地建夫 元監事

#### 第 8 号議案 平成 19 年度日本補綴歯科学会優秀論文賞等の受賞者の推薦について

優秀論文賞等の受賞者の決定について、表彰制度規程により推薦委員会から理事長に以下に記載する学会論文賞 2 名、中堅優秀論文賞 2 名、特定推進研究優秀論文賞 2 名、奨励論文賞 5 名の推薦があり、理事会において審議を願いたい旨の発議がなされた。志賀推薦委員会委員長から、資料 14 を基に説明が行われ、審議の結果、全会一致で可決された。なお、優秀論文賞等の授賞式は、第 117 回学術大会時の総会において執り行うことが確認された。

学会論文賞：福島俊士、長岡英一  
中堅優秀論文賞：土田富士夫、松山美和  
特定推進研究優秀論文賞：高橋敏幸、原 聰  
奨励論文賞：石原 広、長谷川（安川）陽子、笛木賢治、  
小倉京子、柴田武士

#### 第 9 号議案 新入会員について

定款第 7 条に則り、資料 15 を基に、新入会員について審議を願いたい旨の発議がなされ、審議の結果、正会員 150 名、準会員 10 名の入会が、全会一致で可決された。

#### 第 10 号議案 2 年以上の会費未納に伴う除名手続きについて

資料 16 を基に、定款 11 条に定められている、「会費を継続して 2 年以上滞納したとき、総会の議決を経て、理事長が除名することができる。」に従い、2 年以上滞納している会員を対象として、既に文書による通告を行っているとおりに、平成 19 年度末（平成 20 年 3 月 31 日）までに会費の納入が行われない場合は、平成 20 年 4 月 1 日付けで除名する旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認され、第 2 回定例総会に諮ることとなった。

#### 第 11 号議案 日本補綴歯科学会の雑誌について

資料 17 を基に、PRP 誌の Medline 収載の可能性に関して、Elsevier 社から、非常に困難である旨の回答と、いくつかの示唆が得られた旨の報告がなされた。これらを踏まえて審議の結果、現・補綴誌を英文誌に移行させるために、2008 年 4 月から 2008 年 12 月までは、現・補綴誌を和英混交誌とし、英文論文を掲載すること、2009 年 1 月以降は、現・補綴誌の名称 (Hotetsu Shika Gakkai Zasshi) を変更して、英文論文のみを掲載すること、加えて和文論文を掲載するための新・和文誌について検討すること（現・PRP 誌の名称を変更して、これに当てることも含む）、現・PRP 誌については、7 巻 2 号を発刊し、それ以降の発刊については継続審議とすることが全会一致で承認され、第 2 回総会に諮ることとなった。なお、本議案が第 2 回総会で可決された場合には、平成 20 年度事業計画書における「2. 学会誌の発行」の文言を、「研究成果の公開ならびに国際的評価の確立のために、2008 年 4 月から 12 月までに和英混合誌（日本補綴歯科学会雑誌、Hotetsu Shika Gakkai Zasshi）を 3 回、英文誌（PRP）を 1 回、2009 年 1 月から 3 月までに英文誌（名称未定）を 1 回、和文誌（名称未定）を 1 回発行する。」と修正することが確認された。

#### 第 12 号議案 第 118 回ならびに 119 回学術大会長の選任について

学術大会実施要項第 2 条に則り、第 118 回学術大会大会長を大阪大学の矢谷博文先生、第 119 回学術大会大会長を日本歯科大学生命歯学部志賀博先生と決定したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認され、第 2 回定例総会に諮ることとなった。

#### 第 13 号議案 平成 20 年度認定部会委員について

専門医制度委員会規程第 3 条の規定により、資料 18 を基に、認定部会長から推薦された平成 20 年度支部選出認定部会委員が諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。

## XII. 委員会活動（定款第 5 条）

1. 委員長会：平成 19 年度に 6 回開催
2. 常設委員会



学術委員会、編集委員会、財務委員会、医療委員会・医療問題検討部会、医療委員会・診療ガイドライン作成部会、医療委員会・社会保険部会、教育問題検討委員会、専門医制度委員会・運営・研修部会、専門医制度委員会・認定部会、広報社会連携委員会・広報社会連携部会、広報社会連携委員会・ホームページ・ニューズレター部会、国際渉外委員会、規程検討委員会、用語検討委員会、研究企画推進委員会、特命事項担当委員会、特別功労賞推薦委員会、優秀論文賞推薦委員会を開催した。

3. その他の委員会

補綴における病名検討委員会、ノンクラスプデンチャーに関するワーキングを開催した。

XIII. 会員数（平成 20 年 3 月 31 日現在）（定款第 6 条）

- |         |         |
|---------|---------|
| 1. 正会員  | 6,485 名 |
| 2. 準会員  | 55 名    |
| 3. 法人会員 | 43 社    |
| 4. 名誉会員 | 67 名    |
| 会員数合計：  | 6,650 名 |

XIV. 雑誌寄贈先

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. 国内 | 107 団体 |
| 2. 国外 | 36 団体  |